

2代目「はくちょう」について

島根県防災航空隊は、東西に長く離島を有する地理条件や、高齢化及び過疎化が進む社会的条件等を踏まえ、消防・防災活動の充実強化を図る目的で、機動力のあるヘリを導入し、県民の負託にこたえるべく平成6年4月1日に運航を開始した。

当航空隊は、県東部に位置する出雲空港内に基地を構えている。防災航空管理所长（県職員）をはじめ隊長以下隊員10名（県下9消防本部から派遣）、操縦士及び整備士、運航管理を民間委託（セントラルヘリコプターサービス）し任務にあっている。

機体の愛称は島根県の鳥「白鳥」と同じく、「はくちょう」で一般公募により決定した。

平成6年から平成25年1月17日まで、初代の川崎式BK117B-2型を使用。平成25年2月25日から、2代目の川崎式BK117C-2型の運航を開始した。

初代「はくちょう」



2代目「はくちょう」



	初代はくちょう	2代目はくちょう
型式	川崎式BK117 B-2型	川崎式BK117 C-2型
全長	13.00m	13.03m
ローター直径	11.00m	11.00m
胴体幅	1.60m	1.73m
全高	3.85m	3.96m
最大座席数	11席	11席
搭載重量	1,189kg	1,784kg
吊下重量	1,200kg	1,500kg
最大離陸重量	3,350kg	3,585kg
最大速度	277km/h	268km/h
航続距離	550km	685km